

CERAGEM



総発売元

株式会社ジーエムピージャパン
〒379-2146 群馬県前橋市公田町590番地
TEL:027-219-6612
FAX:027-219-6600
ホームページ <http://www.gmp-japan.com>

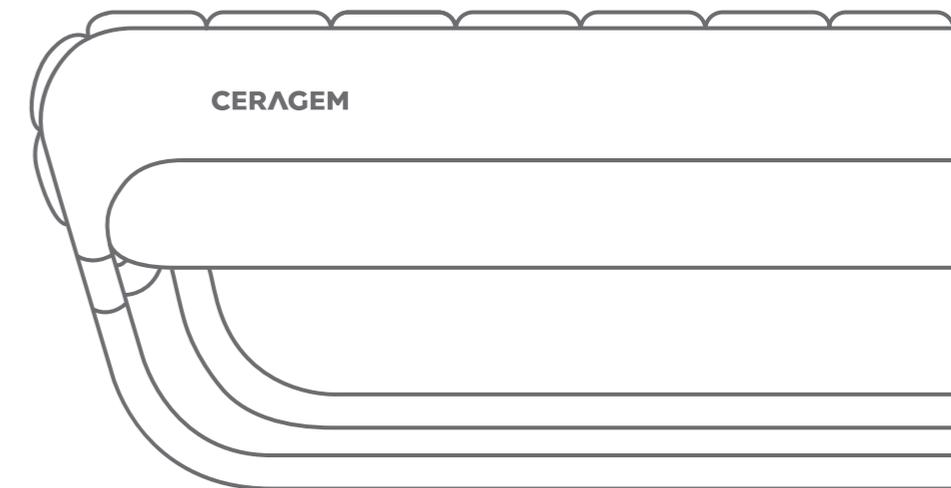
ホームページ

■取扱店

CERAGEM

マスターV4

取扱説明書



重要な安全上の事項

この電気器具は、安全責任者が装置の使用に関して監視または指示を与えない限り、身体的、感覚的または精神的な能力が低下している方、または経験や知識が不足している方（幼児を含む）が単独で使用しないようご注意ください。

以下の情報は、使用者の安全を守り、物的損害を防ぐためのものです。必ず本取扱説明書をご覧になり製品を適切に使用してください。重要な安全上の事項は、「危険」、「警告」および「注意」に分けられています。意味は下記の通りです。この絵表示は、危険な状況や使用方法の場合に警告を行うために使用されます。

 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険性が高いことを示します。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、軽傷または物的損傷の可能性があります。

ご使用に関して

本体マットと下部温熱体に135kg以上の荷重をかけながら、温熱と指圧機能を連続的にご使用になりますと、故障などの原因となることがありますので、ご注意ください。

使用目的

筋肉のリラクゼーション療法、一時的な軽い筋肉と関節の痛みの軽減、凝りと血流の緩和を助けます。

危険

 感電の危険性を低減するため、必ず以下のことをお守りください。

1. 本製品の使用中に、ピンなどの金属を使用しないでください。
2. 使用する前に、フレームを確認してください。亀裂、破損の兆候、または劣化した状態でのご使用はおやめください。
3. 湿気または水分がある場所での使用は避けてください。
4. 外部導子と皮膚が直接触れないように、外部導子を使用するときは外部導子カバーを必ず使用してください（火傷の恐れがあります）。
5. 目（眼球）へのダメージを防ぐため、外部導子を目の上に直接置かないでください。
6. 雷または地震が発生した場合は、本製品の使用をやめ、電源を抜いてください（火傷の恐れがあります）。
7. コードを引っ張って電源を抜かないでください。必ず、電源プラグを持って抜いてください。また、濡れた手で電源プラグを触らないでください（感電または火傷の恐れがあります）。

重要な安全上の事項



1. 本製品は、必ず機械的に完全な状態で使用してください(破損した製品を使用した場合、怪我または火傷の可能性があります)。
2. 本製品の使用を終えた場合、または本製品を長期間使用しない場合は、本製品の電源を抜いてください。
3. 弊社提供の外部導子カバー以外の、火事の原因となる可能性がある他の製品(繊維製品、毛布など)を上に乗らないでください(過熱により火災及び感電が生じる場合があります)。
4. 障害者または幼児が使用する場合は、保護者が立ち会う必要があります。
*警告!本製品が設置された場所に幼児を近づけないでください。
*警告!本製品の上で幼児が飛び跳ねないようにしてください。
5. 以下の場合は、本製品を使用しないでください。お客様相談室にお問合せいただき、検査またはアフターサービスを依頼してください。
-本製品が落下した、または破損した場合
-本製品が濡れた場合
-コードまたは電源ボタンが破損した場合(感電または火災の恐れがあります)
6. 電気暖房器具またはヒーターに電源コードを近づけないでください。
7. 本製品は、室内での使用のみを意図して設計されています。屋外で使用しないでください。
8. 空気中に異物がある場所または酸素を取り扱う場所で製品を使用しないでください。
9. 本製品を解体する場合は、電源を抜く前にリモコンと本体電源スイッチ両方が「オフ」になっていることを確認してください。
10. 温熱体に注意してください(重度の火傷の原因になることがあります)。
11. 導子を身体の感度の低い部分や血液循環が悪い所には使用しないでください(製品に熱が残っている場合、幼児または体調不良の方には危険になる可能性があります)。
12. 機器の上で眠らないでください。
13. 本製品をむやみに分解、修理、または改造しないでください。修理が必要な場合は、お客様相談室にお問合せください(感電、火災、怪我、及び火傷の恐れがあります)。
14. 本体マットと下部温熱体の間に手や身体の一部を入れないように注意してください(感電及び怪我の恐れがあります)。
15. 怪我の危険性を回避するには:
-妊婦、悪性腫瘍、高熱、骨粗しょう症を患っている方、健康状態が良くない方、体調が良くない方、または治療を受けている方、及び背中、首、肩または臀部(でんぶ)に痛みがある方は、本製品を使用する前に担当の医師に相談してください。
-ペースメーカー、除細動器、その他人工インプラントや医療機器を使用している場合は、使用する前に担当の医師に相談してください。
-熱に対する鋭敏反応またはアレルギーがある場合は、本製品を使用する前に担当の医師に相談してください。
-素肌で使用しないでください。必ず衣服を着用してください。
-背中または臀部(でんぶ)の大手術を受けたことがある場合は、使用しないでください。
-製品が直接触れる皮膚の部分に外傷または感染がある場合は、使用する前に担当の医師に相談してください。

重要な安全上の事項

- 気分が悪くなった場合や違和感を感じた場合、または指圧が痛すぎる場合は、装置を直ぐに停止してください。
- 現時点で、本製品が薬物治療を妨げたり影響を与えたりすることはありません。処方薬を使用中の方は、本製品を使用する前に医師に相談してください。
- この装置の使用中に眠らないでください。
- 飲酒後にこの装置を使用しないでください。
- 幼児またはペットが、特に操作中に、この装置の上や周辺で遊ばないようにしてください。



1. 内部導子を使用している場合は、身体をひねらずに、真っ直ぐの姿勢で使用してください。
2. 本製品の温度は最適なレベルに設定してください(体格または皮膚の厚さに応じて、本製品を最適な温度で使用してください)。
3. 敏感肌の方は、本製品を低温で使用してください(火傷の恐れがあります)。
4. 幼児、温度を自分で制御できない方、または皮膚の感覚が鈍い方は、火傷の恐れがあるため、低温に設定されている場合でも、本製品を長時間使用する際は注意する必要があります(注意!衣服を着用して使用してください)。
5. 本製品の使用中に異常な症状が見られた場合は、再度使用する前に必ず医師に相談してください。
6. 電源コードまたは外側の配線を無理に曲げないでください(感電および火災の恐れがあります)。
7. 可燃性の物(ろうそく、たばこ及びアルコール)、内部に水を含む物、重い物、またはとがった物を本製品の上に置かないでください(感電および損傷の原因となる場合があります)。
8. 本製品に乗ったり降りたりする際は、転ばないように注意してください。
9. 本書に従って使用し、本書に記載されている時間と方法を守ってください(1日に1~2回使用しメーカーが提供するもの以外の、他の製品と併用しないでください)。
10. 身体の1か所に2~3分以上外部導子を使用しないでください(2~3分たったら、外部導子を他の部位に移動してください)。
11. 本製品に衝撃を与えないでください。
12. 使用中に下部温熱体を収納したり、リモコン装置を取り外したりしないでください(アクティブモードが自動的に終了します)。
13. 本製品は表面が熱くなります。熱に対して無感覚な方は、本製品の使用時にはご注意ください。
14. 上部温熱体と下部温熱体の間に異物が入らないように注意してください(感電、火災、怪我およびの故障の原因となる場合があります)。
15. リモコン装置を投げたりしないでください。また、接続ケーブルを引っ張らないでください(怪我および機器の故障の原因となる場合があります)。
16. 電源コードが破損している場合は、メーカー、サービス代理店、または同等の有資格者が交換を行ってください。これは危険を回避する為です。
17. 脱着式電源プラグを外すのが難しい場合には、設置しないでください。
18. モード設定後、一定の時間が過ぎると自動的に内部導子が動きますので、正しい姿勢で横になってください。

重要な安全上の事項

使用者は、医療機器に関連した重大な傷害の疑いがある場合は、規制当局及び製造業者両者へ報告しなければなりません。また、使用者が、本製品を使用中に、有害事象かと思われる状況に遭った場合においても、規制当局及び製造業者へ報告をしなければなりません。

本製品は、家庭用です。家庭環境において使用するために設計されています。

・注意事項

本製品は、FCC規則パート15に準拠しています。動作には、以下の2つの条件があります：

- (1) 本製品は、有害な干渉を引き起こすことはありません。
- (2) 本製品は、望ましくない動作を引き起こす可能性を含め、受信した干渉を受け入れなければならない。

注：本製品は、FCC規則パート15に準じた、クラスBのデジタル機器の制限に準拠することが試験で確認されています。これらの制限は、宅地において合理的に有害な干渉から保護するために設計されています。本機は、高周波エネルギーを発生、使用及び放出する可能性があるため、もし、取扱説明書に従って設置及び使用しなかった場合、無線通信に有害干渉を引き起こす可能性が有ります。しかし、特定の設置場所において干渉が発生しないという保証はなく、本体の電源を切ったり入れたりすることで確認ができ、使用者は、以下の1つ又は複数の方法によって干渉を修正することができます。

- 受信アンテナの向きを変えるか新しい場所へ移動する。
- 本製品と受信機の間仕切りを増やす。
- 受信機が接続されているところと違う場所の電源コンセントへ本製品を繋げる。



コンプライアンスの責任を負う当事者によって、明確に承認されていない変更または修正は、この製品の操作する権限を無効にする可能性があります。

目次

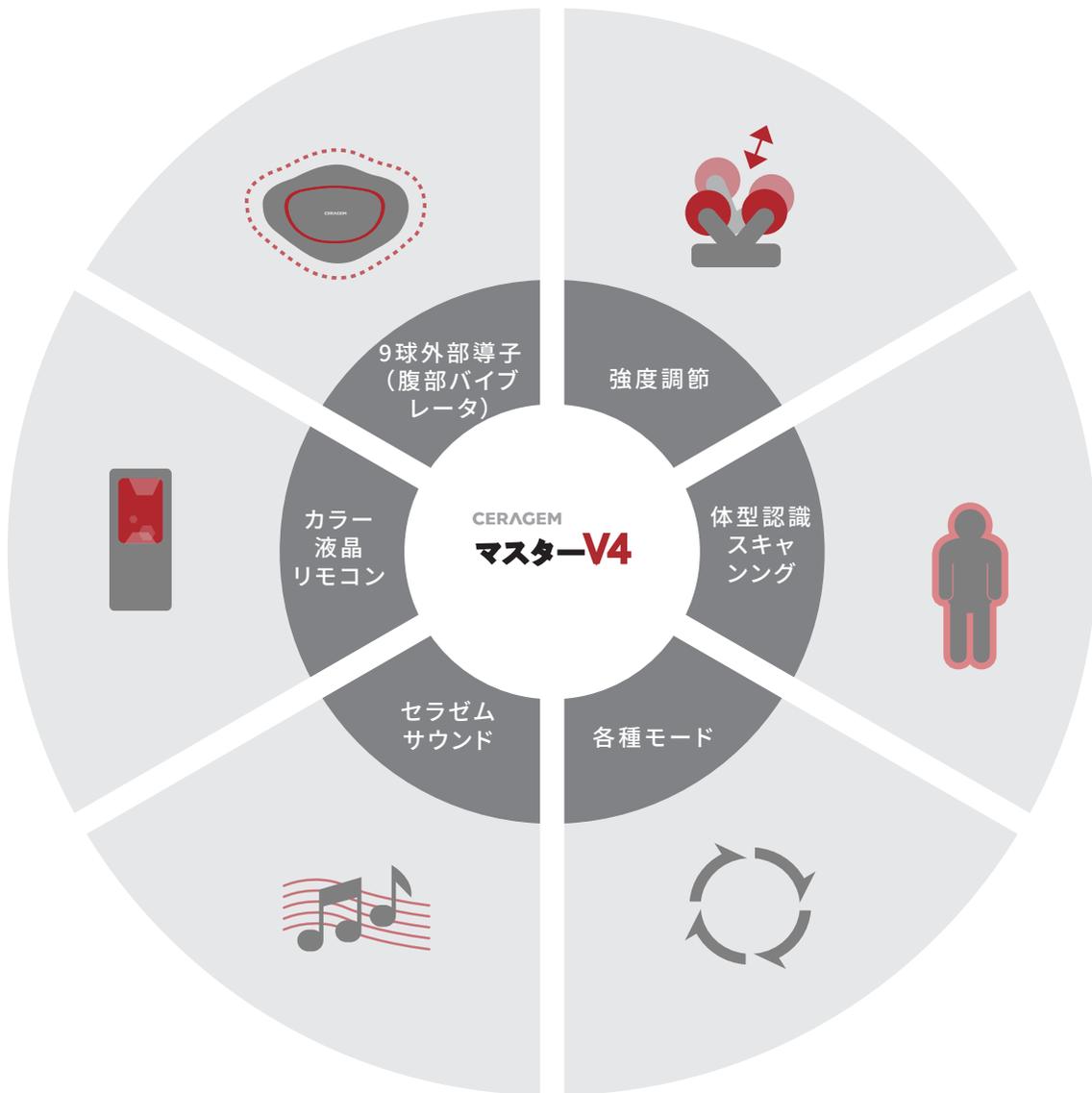
>> 安全に関する重要事項	01
- 危険	
- 警告	
- 注意	
I. 製品の紹介	07
1. 製品の特長	
2. 各部の名称	
II. 設置と準備	11
1. 部品の確認	
2. 設置前の確認	
3. 設置	
4. 設置後の確認	
III. 本製品の使用	16
1. 製品使用前確認	
2. リモコンのレイアウト	
3. リモコンの使用法	
4. 製品の移動方法	
IV. 管理と注意が必要な事項	35
1. 自己点検	
2. 管理及び保管方法	
3. アフターサービス依頼前の確認	
4. 診断コードメッセージ	
5. 製品仕様	
6. 製品保証書	
V. サービスマニュアル	42
1. 表示、運送及び保管の説明	
2. その他	

メモ

I. 製品の紹介

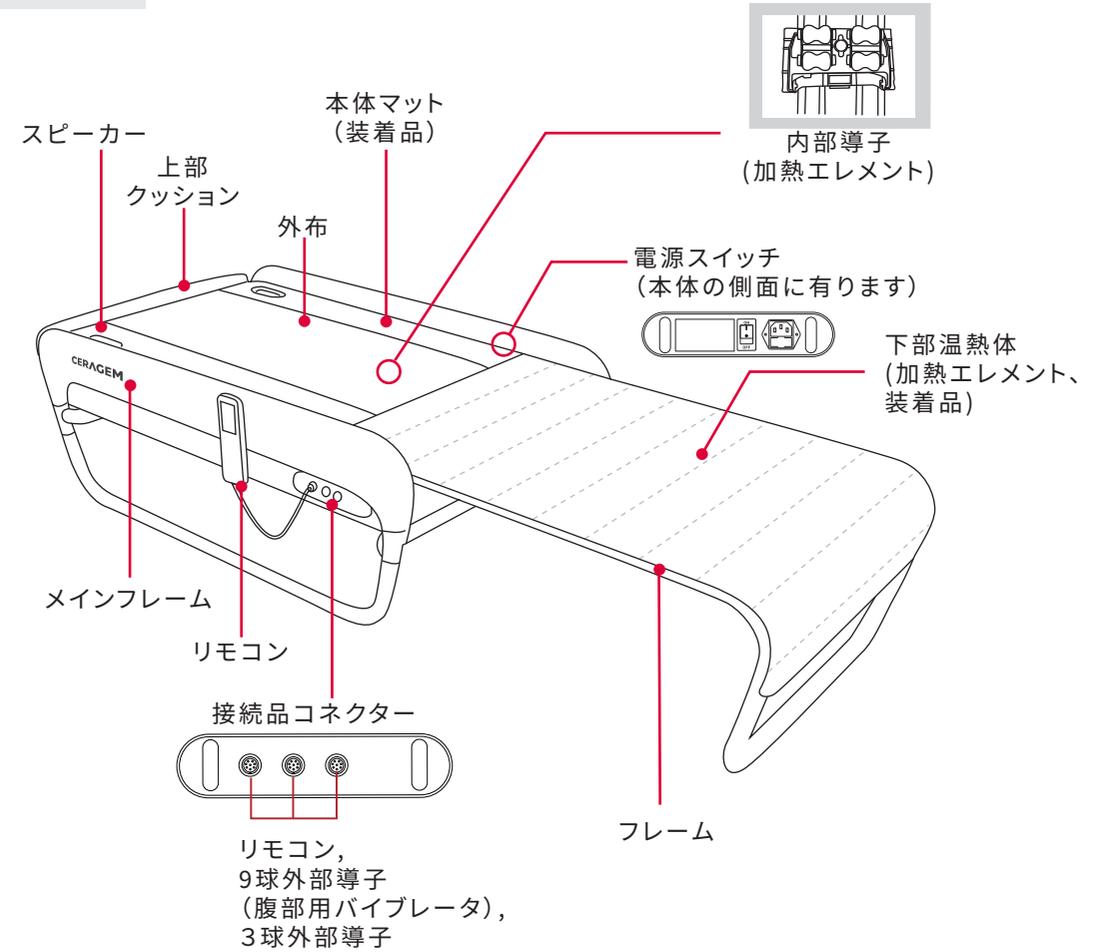
1. 製品の特徴
2. 各部の名称

1. 製品の特徴



2. 各部の名称

本 体 * 設計(色)とカバーの形は、製品により異なります。



付 属 品



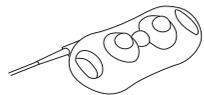
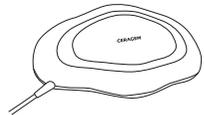
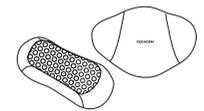
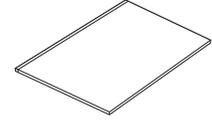
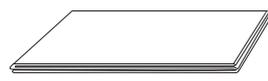
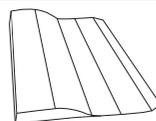
装着品とは？
製品を使用する時に、使用者の身体に接触する部品のことです。

メモ

II. 設置と準備

1. 部品の確認
2. 設置前の確認
3. 設置
4. 設置後の確認

1. 部品の確認

1		3球外部導子 腹部、肩、腕、脚などの身体の部分で使いやすく、 1人で寝ながらもしくは2人でシェアしながら使えます。
2		9球外部導子 (腹部用バイブレータ) 本体に接続し、腹部で使用することができます。
3		外部導子カバー (9球外部導子 (腹部用バイブレータ) 及び 3球外部導子) 外部導子の外側を覆うために使用します。
4		リモコン 製品の機能を操作し、動作状態の確認に使用します。
5		リモコンの背面ラベル リモコンボタンの機能を示します。リモコンの背面に 貼り付けて使用します。
6		リモコンの受け台 (ボルト) リモコンの受け台は、本体に取り付けて使用します。
7		電源コード 本体に接続し、使用時にプラグをコンセントに差し込みます。
8		取扱説明書 本製品の使用方法に関する情報が記載されています。
9		外布 製品の汚れや火傷を防ぎます。 この布は、取り外しが可能で、簡単に洗濯できます。
10		上部クッション 製品の上部に取り付けます。
11		防水カバー 製品を移設したり保管する時に、 製品を保護するために使用します。

2. 設置前の確認

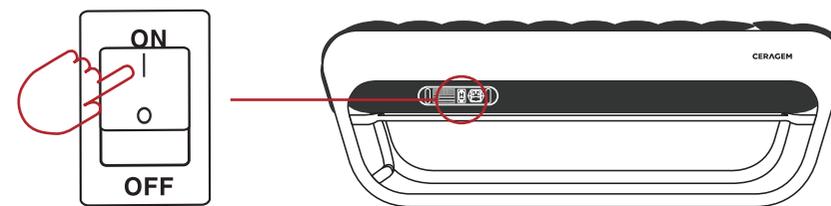
- 1 製品の損傷を防ぐために、平らな床に設置してください。
- 2 湿度の高い所やほこりの多い場所には設置しないでください。
(感電や火災の危険を回避するため)
- 3 指定された順番に従って設置してください。
- 4 設置する際は、定格電圧がAC100Vであることを確認してください。
(回路の損傷や火災を防ぐため)
- 5 製品を落下させたり、過度な力をかけたりしないでください。
(不具合の原因となる場合があります)
- 6 損傷した電源コードやプラグ、古いコンセントを使用しないでください。
- 7 本製品は医療機器ですので、お客様ご自身で修理及び分解しないでください。
また、電源プラグにありますアースを必ず取付けてください。
(感電の恐れがあります。)

3. 設置

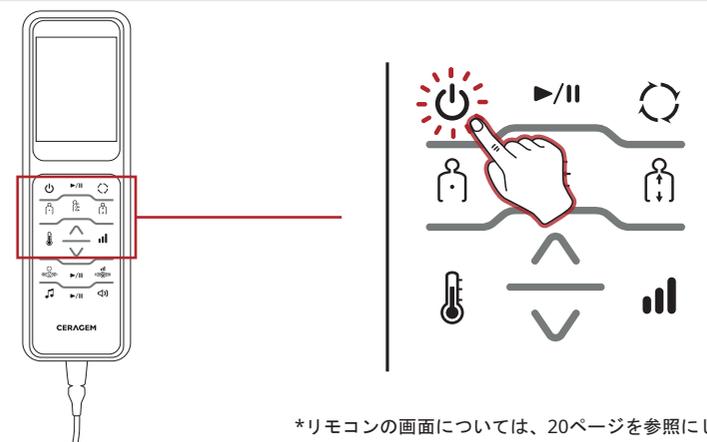
- 1 商品到着後、開梱し商品を取り出した後に、下部温熱体をしっかりと最後まで伸ばしておいてください。
- 2 リモコンの受け台をフレームに取り付け、リモコンを受け台に置いてください。
- 3 リモコン、腹部用バイブレータ及び3球外部導子のコネクタが、正しく接続されているか確認をしてください。
- 4 電源コードを接続させる前に、先ずリモコンを接続させてください。
- 5 本体に電源コードを接続させてから、コンセントに差し込んでください。

4. 設置後の確認

- 1 本体の側面の電源スイッチをオンにします。
(製品を使用しないときは、電源をオフにしてください。)



- 2 リモコンの電源キーを押し、ディスプレイがオンになることを確認します。



*リモコンの画面については、20ページを参照にしてください。



注意

1. 製品を使用する時は温度を適切に設定してください。
2. 本製品を使用する場合は、下部温熱部分を完全に開いてください。または、温熱ソファーとして使用する場合は完全に収納してください。
3. 製品の使用後は、リモコンの電源をオフにしてから本体の電源をオフにします。

1. 製品使用前の確認

製品を使用する前に、リモコン及び外部導子が接続されているかどうか確認してください。
(外部導子が接続されているときのみ、リモコンに表示されます。)

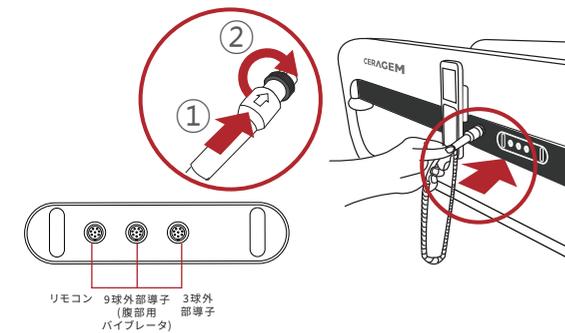


ちょっと待った!

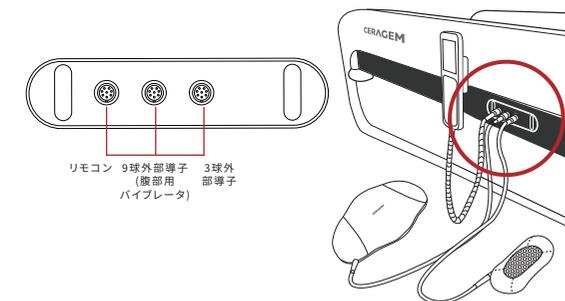
本製品を使用する前に、リモコンと外部導子が正しく接続されているかを確認してください。
(イメージは、外部導子が接続されている時のみ、リモコンに表示されます。)

III. 本製品の使用

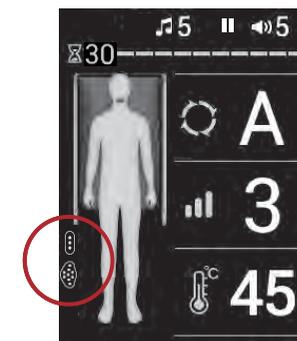
1. 製品使用前の確認
2. リモコンのレイアウト
3. リモコンの使用方法
4. 製品の移動方法



- 1 本体にリモコンを接続してください。
(正しく差し込み、留め具で固定してください。)



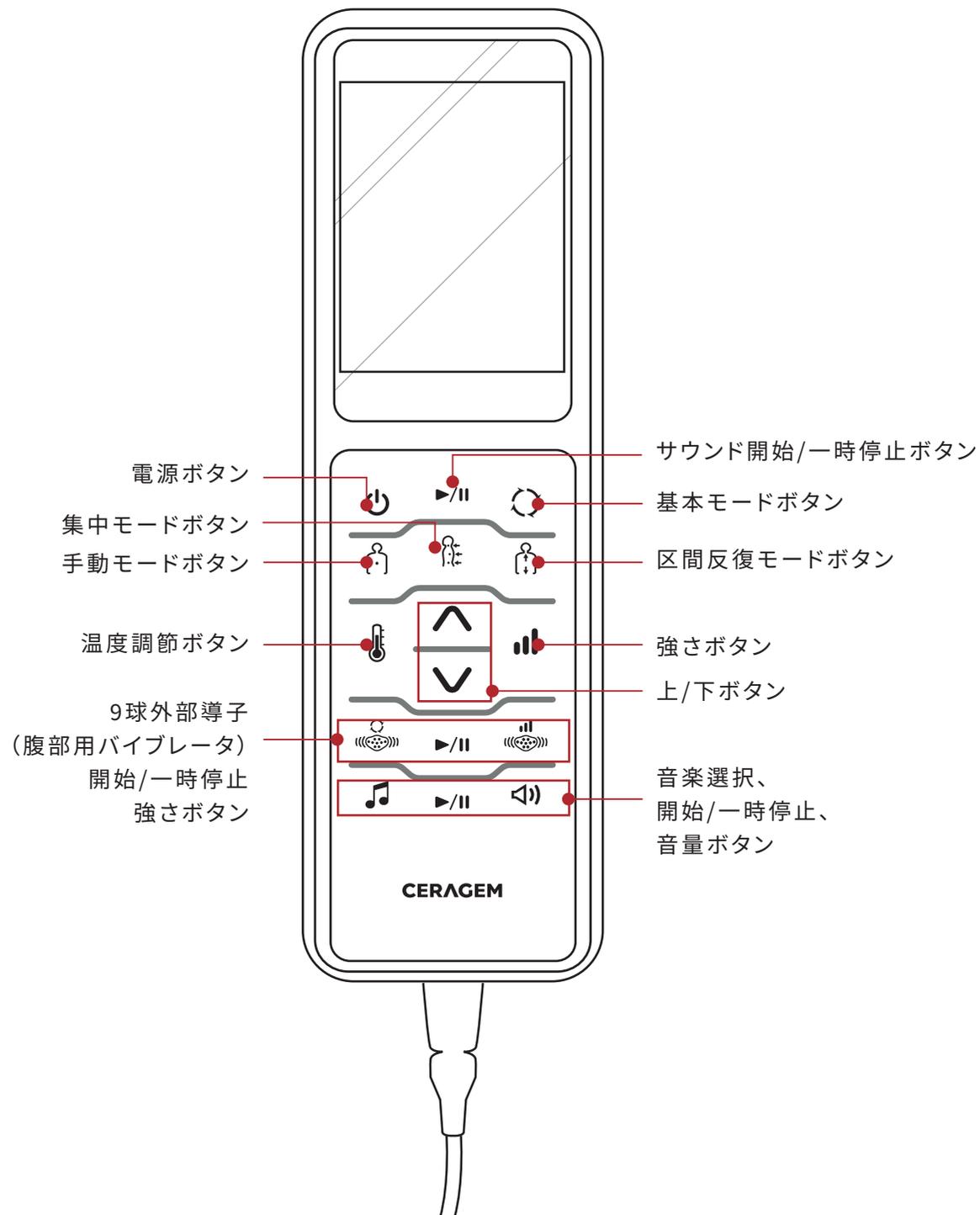
- 2 リモコン同様、本体に9球外部導子 (腹部用バイブレータ)、3球外部導子) を接続してください。



- 3 本体の電源を入れた後、9球外部導子 (腹部用バイブレータ)、3球外部導子) のアイコンが、リモコンのスクリーンに表示されるかを確認してください。

2. リモコンのレイアウト

リモコンのボタンの構成

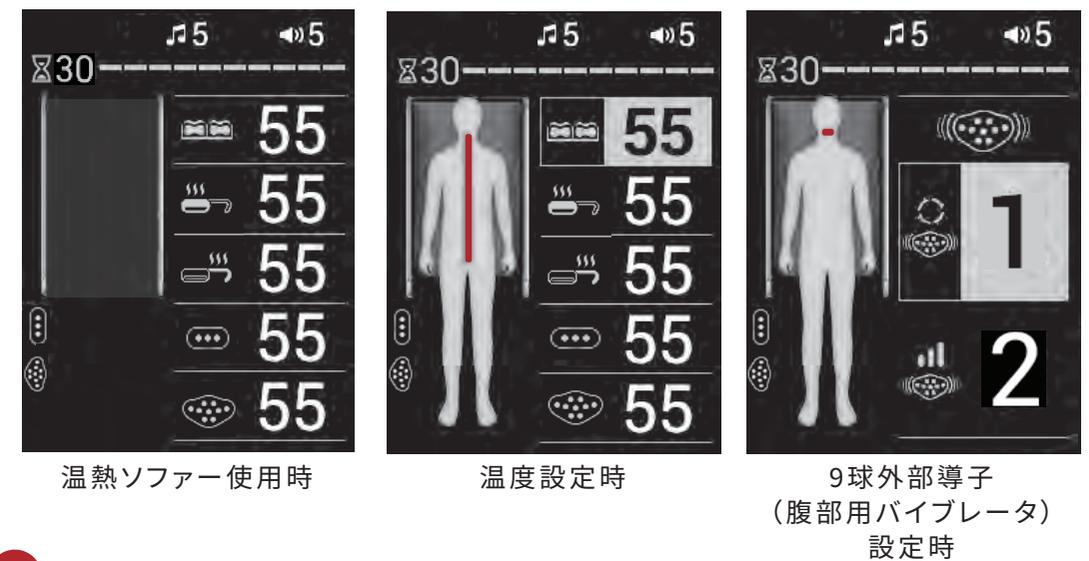


2. リモコンのレイアウト

画面のレイアウト

- メイン画面 -

1	音楽モード (セラゼムサウンド/ボイスガイド)
2	サウンド開始/一時停止表示
3	音量(0~20)
4	残り時間(分間)
5	内部導子位置マーク
6	モードマーク (基本モード モード1~11/集中/区間反復/手動)
7	強さマーク(1~9)
8	内部導子温度表示(30~65°C)
9	3球外部導子と9球外部導子 腹部バイブレータ)の接続表示

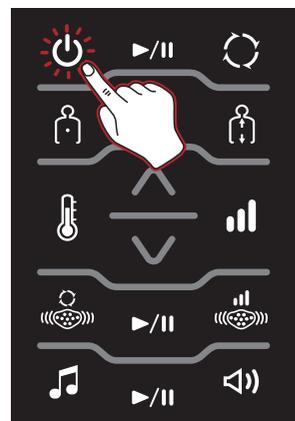


待って

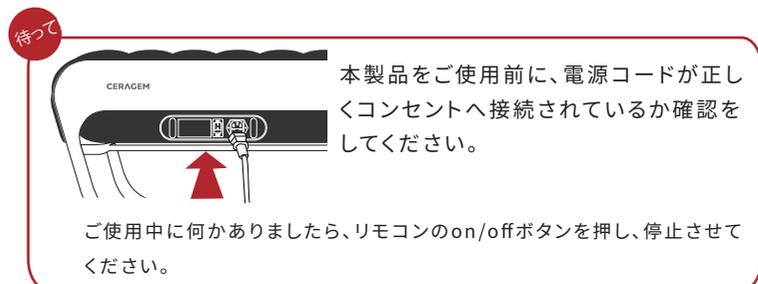
- 下部温熱体が収納されている時は、下部温熱体の収納されている表示が示されます。
- 最後のリモコン操作から10秒間が経つと、ディスプレイが消灯します。
(ボタン操作すると、再び点灯します。)

3. リモコンの使用方法

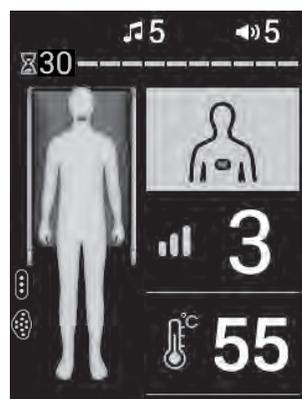
リモコンをオンにする



1. 電源コードが本体に接続されていることを確認し、リモコンの電源ボタンを押してください。
- 電源を切るときは、電源ボタンをおよそ2秒間押し続けてください。



2. 「CERAGEM」ロゴがディスプレイに表示され、リモコンの電源が入ります。

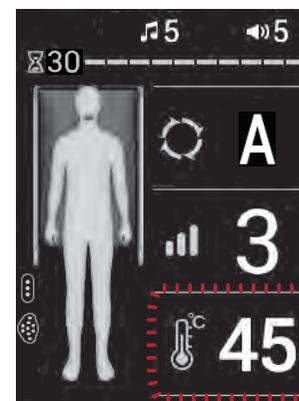


3. ディスプレイに表示され、ご希望のボタンを押して使用します。
- 最近設定された内容が表示されます。
(設定された内容は、正常に電源が切れなかった場合は、保存されません。)

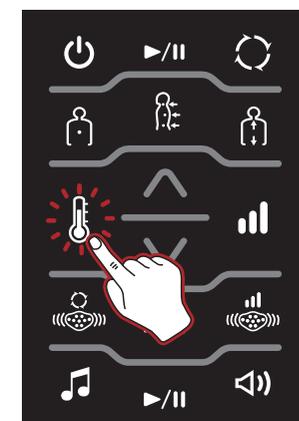
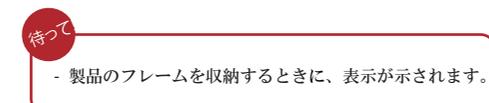


3. リモコンの使用方法

温度設定

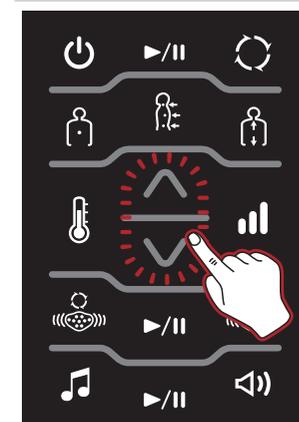


1. ディスプレイで温度を確認し、温度調整ボタンを押します。
- 内部導子の現在の温度が、ディスプレイに表示されます。

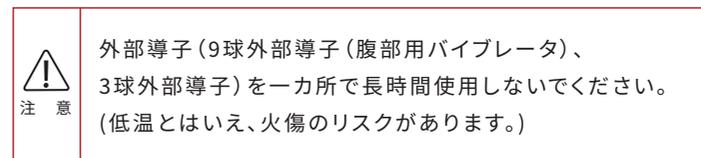


2. 温度調節ボタンを押して、温度を選択します。
- 温度選択：内部導子 → メインマット → 下部温熱体 → 3球外部導子 → 9球外部導子 (腹部用パイプレータ)。
- 温度が設定されると、関連部分が赤く表示されます。
- 9球外部導子 (腹部用パイプレータ) と3球外部導子は、接続されている場合のみ表示され、取付の順番によっては位置が変わることがあります。

内部導子	メインマット	下部温熱体	3球外部導子	9球外部導子 (腹部用パイプレータ)
30 55 55 55 55	30 55 60 55 55	30 55 55 60 55	30 55 55 60 55	30 55 55 55 60
Off, 30~65°C	Off, 30~60°C			

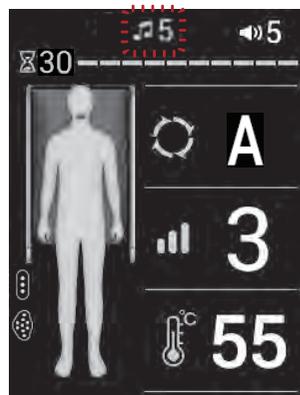


3. 上下ボタンを使用し、温度と調整を選択してからお使いください。
- 設定が完了し、しばらくするとメイン画面へ戻ります。

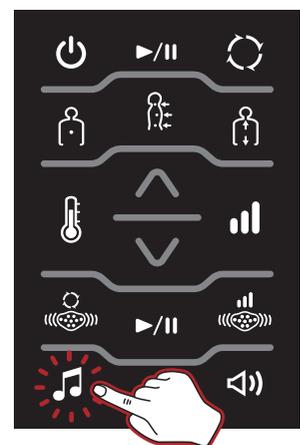


3. リモコンの使用方法

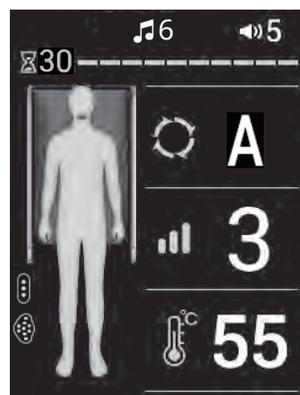
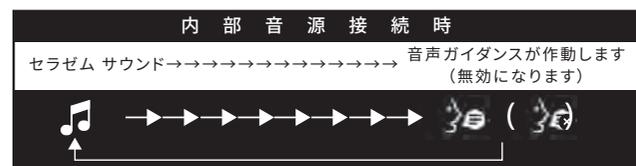
サウンドの使用方法



1. 現在の音量を確認します。
 - 音源は、モード10・11を使用中の時は再生されません。



2. サウンドを選ぶには、何度か音楽選択ボタンを押し、開始または上下ボタンいずれかを使うことによって、適切な音量を設定できます。
 - サウンドが一時停止している時または、音量が「0」に設定されていると、音声ガイダンスは、無効になります。

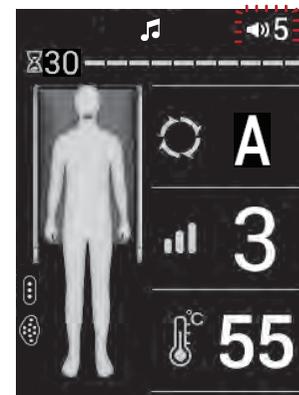


3. ディスプレイで音響の状態を確認します。

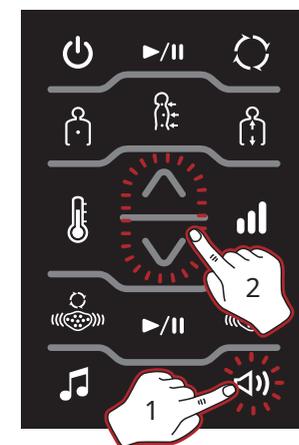
- 待って
- メインモードが一時停止になっていると、サウンドも一時停止になります。音源は、再度開始ボタンを押すと再生します。
 - 製品を使用中に音源を一時停止すると、一時停止の表示が示されます。
 - 電磁波によって、ノイズが発生する可能性が有ります。

3. リモコンの使用方法

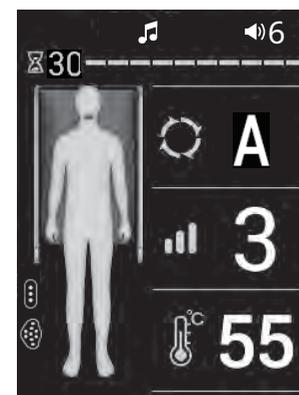
音量の使用方法



1. ディスプレイでボリュームを確認します。



2. 音楽選択ボタンを押すか、上下ボタンいずれかを使うことによって、適切な音量を設定します。
 - サウンドを設定の時に、該当項目が黄色で表示されます；好みのサウンド及びボリュームは、この時に設定されます。
 - ボリュームは、0～20まで設定が可能です。
 - 音声ガイドのボリュームは、設定時のみ音量ボタンで調節が可能です。

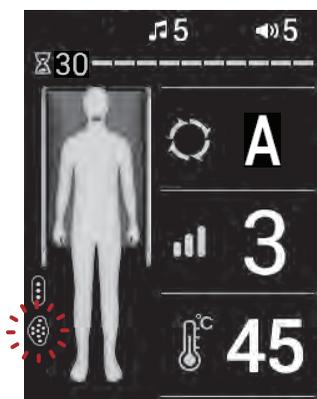


3. ディスプレイ上でボリュームの変更後の状態を確認できます。

- 待って
- 電磁波によって、ノイズが発生する可能性が有ります。

3. リモコンの使用方法

9球外部導子(腹部用バイブレータ)の使用方法

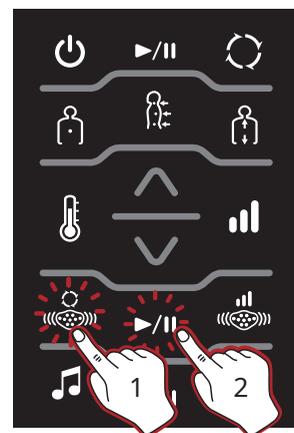


1. 9球外部導子(腹部用バイブレータ)が、正しく接続されているか確認をしてください。

- 接続されているか否かが、ディスプレイに表示されます。
- 外部導子のアイコンは、接続されている時に表示されます。

待って

- 製品が収納されている時は、収納されている表示が示されます。



2. 9球外部導子(腹部用バイブレータ)モードボタンを押すことによりモードが設定されるので、開始/一時停止ボタンを押します。

- 選択されている項目が黄色く表示されている間に、バイブレーション導子モードボタンまたは上下ボタンを押し、好みのモードを設定します。
- モード1~3を使用することができます。

	長押し(モード1~3が、順に選択されます。)
モード1~3	およそ18分間

- 注意** - 床の上で9球外部導子(腹部用バイブレータ)を使用しないでください。(表面に損傷を与える恐れがあります。)



3. 設定終了後、選択されたモードで開始します。

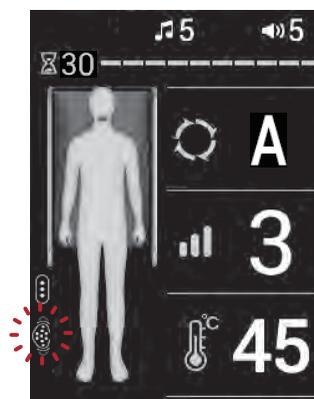
- 設定が完了し暫くすると、メイン画面へ戻ります。

待って

- メインモードの時に一時停止すると、9球外部導子(腹部用バイブレータ)も、一時停止します。また、9球外部導子(腹部用バイブレータ)開始ボタンが押されると再始動します。
- 使用中に9球外部導子(腹部用バイブレータモード)を一時停止した時、一時停止の表示が示されます。

3. リモコンの使用方法

9球外部導子(腹部用バイブレータ)強さの使用方法



1. リモコンの画面を確認します。

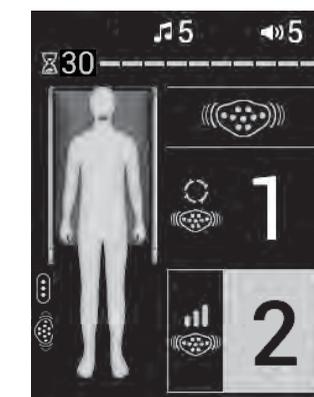
- 現在の状況が表示されます。



2. 9球外部導子(腹部用バイブレータ)強さボタンを押すことにより強さが設定されるので、開始/一時停止ボタンを押します。

- 該当項目が黄色く表示されている間に、バイブレータ強さボタンまたは上下ボタンを使用することにより、好みのモードを設定できます。
- 強さは、1~2設定ができます。

- 注意** 長押し(強さ1~2が、設定できます。)



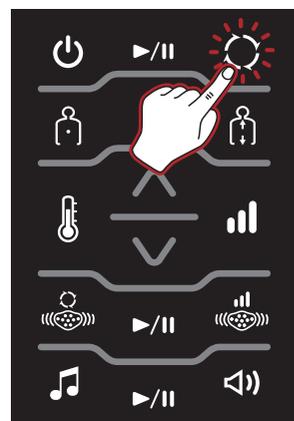
3. 設定終了後、設定された強さで開始します。

- 設定が完了し暫くすると、メイン画面へ戻ります。

- 注意** 9球外部導子(腹部用バイブレータ)を一カ所で長時間使用しないでください。(低温とはいえ、火傷のリスクがあります。)

3. リモコンの使用方法

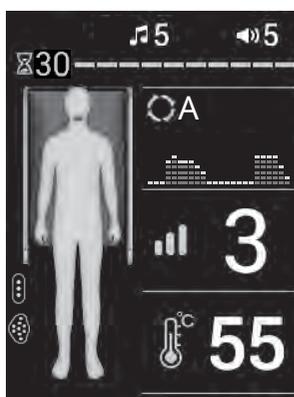
自動モード使用方法



1. リモコンの電源を入れ、現在の状況を確認し、自動モードボタンを押します。

基本モード：およそ30分
 モード1：およそ30分
 モード2：およそ18分
 モード3：およそ30分
 モード4：およそ30分
 モード5：およそ30分
 モード6：およそ30分
 モード7：およそ30分
 モード8：およそ30分
 モード9：およそ30分
 モード10：およそ18分
 モード11：およそ30分

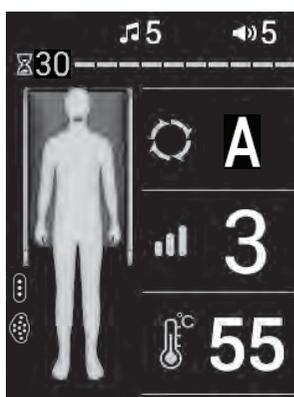
⊙ A	基本モード	⊙ 6	モード6
⊙ 1	モード1	⊙ 7	モード7
⊙ 2	モード2	⊙ 8	モード8
⊙ 3	モード3	⊙ 9	モード9
⊙ 4	モード4	⊙ 10	モード10
⊙ 5	モード5	⊙ 11	モード11



2. 自動モードボタンを押しモードを設定すると、体型のスカニングが始まります。正しい姿勢で横になります。

- 該当項目が黄色で表示されている間に、自動モードボタンまたは上下ボタンを押すことにより好みのモードを設定できます。
- モードが始まる時に、セラゼムサウンドが再生されます。(サウンドは、モード10及び11をご使用の時は再生されません。)
- スカニング中は、一時停止することはできません。
- 体型のグラフは、人によって変わります。

⌚ 長押し (基本モード及びモード1~11は、順に選択されます。)



3. スカニングが終了すると、自動的に開始します。正しい姿勢を維持してください。

- 残り時間は、身体アイコンの上に表示されます。

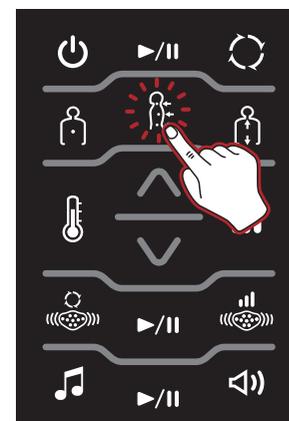
待つて

- 一時停止中は、内部導子で火傷とケガを防止するために垂直に下がります。(モードを再実行すると、設定が保存されます。)
- 一時停止してから5分が経つと、自動的に電源が切れます。

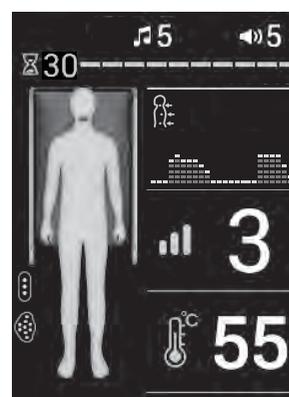
3. リモコンの使用方法

集中モードの使用方法

運転時間 およそ30分

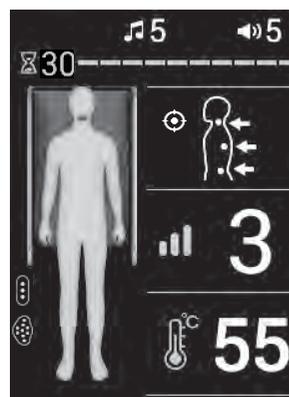


1. リモコンの電源が入ったら、現在の状況を確認し、集中モードボタンを押します。



2. スカニングが終了すると、集中モードが開始します。正しい姿勢を維持してください。

- 残り時間は、身体アイコンの上に表示されます。



3. 特定の部位を選択する場合は、上下ボタンで内部導子を移動させてください。

- 集中モードの設定を取り消したい場合は、内部導子を移動させてください。
- 設定後30分経つと、自動的に電源が落ち、モードが終了します。

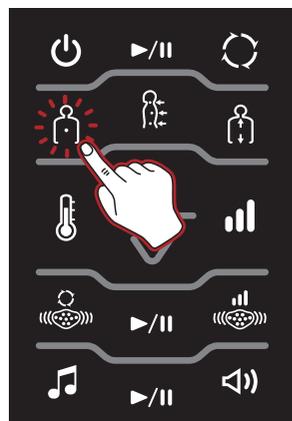
待つて

- 一時停止中は、内部導子で火傷とケガを防止するために垂直に下がります。(モードを再実行すると、設定が保存されます。)
- 一時停止してから5分が経つと、自動的に電源が切れます。

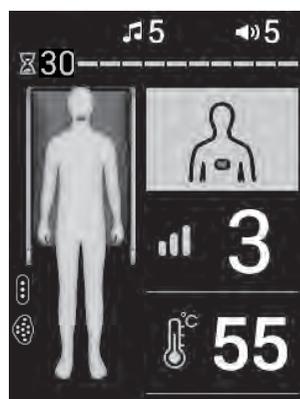
3. リモコンの使用方法

手動モードの使用方法

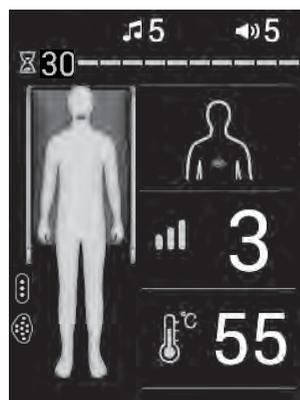
運転時間 およそ30分



1. 電源が入ったら、ディスプレイを確認し、手動モードボタンを押します。



2. 上下ボタンを押し、お好みの部位へ内部導子を移動します。



3. 設定した部位から、手動モードが開始します。正しい姿勢を維持してください。
 - 残り時間は、身体アイコンの上に表示されます。
 - 運転中にリモコン操作すると、残り時間がリセットされます。
 - 位置の設定から5分後に、やけど防止のために内部導子が自動的に動きます。
 - リモコン操作後30分が経過すると、自動的に電源が切れて終了します。

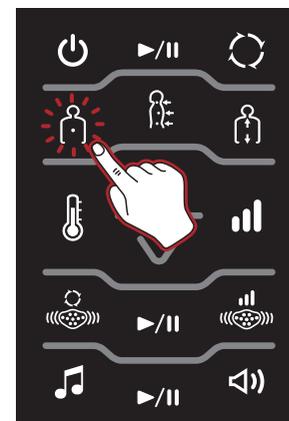
待って

- 一時停止中に、やけど及びケガの防止のため、垂直に下がります。(モードを再始動すると、設定した強さへ戻ります。)
- 一時停止をしてから5分経つと、自動的に電源が切れます。

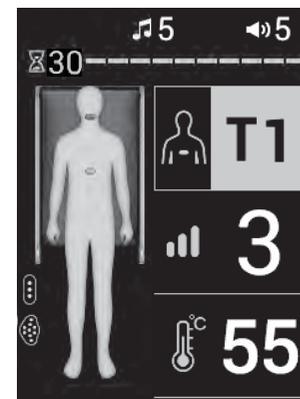
3. リモコンの使用方法

手動マスターモードの使用方法

運転時間 およそ30分



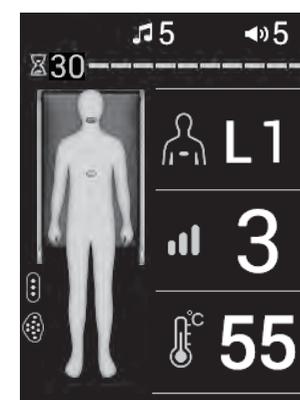
1. リモコンの電源が入ると、現在の状態を確認し、手動モードのボタンを2回押します。



2. 上下ボタンを使用し、内部導子をお好みの位置へ移動します。

- 設定された位置は、緑色で表示されます。

位置	表示(24区分)
頸部(頸椎)	C1~7
背部(胸椎)	T1~12
腰部(腰椎)	L1~5



3. 身体のスキャンが終わると、手動マスターモードが開始します。正しい姿勢を維持してください。
 - 残り時間は、身体アイコンの上に表示されます。
 - 運転中にリモコン操作すると、残り時間がリセットされます。
 - 位置の設定から5分後に、やけど防止のために内部導子が自動的に動きます。
 - リモコン操作後30分が経過すると、自動的に電源が切れて終了します。

待って

- 一時停止中に、やけど及びケガの防止のため、垂直に下がります。(モードを再始動すると、設定した強さへ戻ります。)
- 一時停止をしてから5分経つと、自動的に電源が切れます。

3. リモコンの使用方法

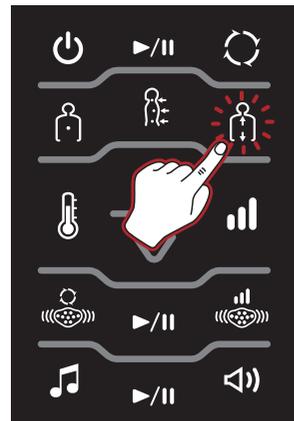
3. リモコンの使用方法

区間反復モードの使用方法

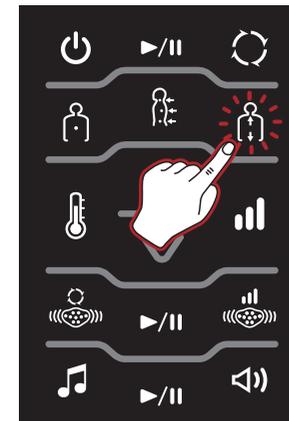
区間反復マスターモードの使用方法

運転時間 およそ30分

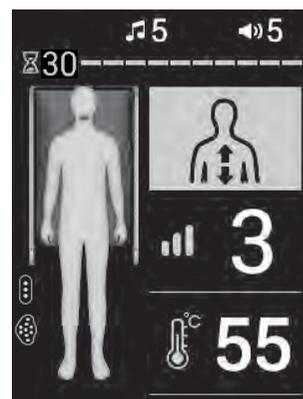
運転時間 およそ30分



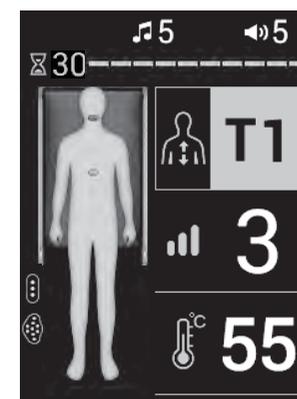
1. リモコンの電源が入ったら、現在の状態を確認し、区間反復モードボタンを押してください。



1. 電源が入ったら、ディスプレイで確認をし、区間反復モードボタンを2回押してください。



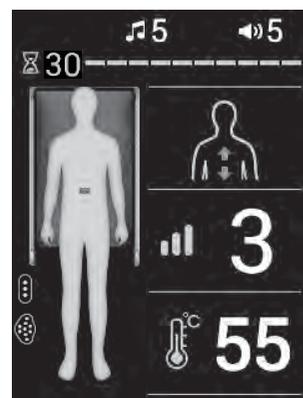
2. 上下ボタンを押し、お好みの位置へ内部導子を移動します。



2. 上下ボタンを使い、お好みの位置へ内部導子を移動させます。

- 設定された位置は、緑色で表示されます。

位置	表示(24区分)
頸部(頸椎)	C1~7
背部(胸椎)	T1~12
腰部(腰椎)	L1~5

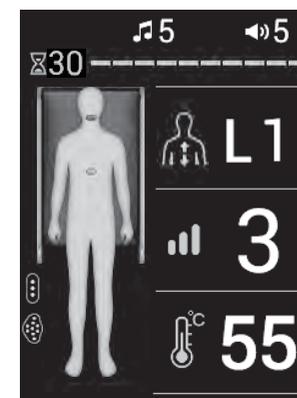


3. 区間反復モードは、お好みの位置で開始します。正しい姿勢を保ってください。

- 残り時間は、人型のアイコンの上に表示されます。
- 製品使用中にリモコン操作をすると、残り時間がリセットされます。
- リモコンを操作後30分経つと、リモコンの電源が自動的に切れ、終了します。

待って

- 一時停止の際、やけどとケガを防止するために、内部導子が移動します。(モードを再始動する時は、設定された強さが復帰します。)
- 一時停止後5分が経過すると、本体は自動的に電源が切れます。



3. スキャンが終わると、区間反復マスターモードが開始します。正しい姿勢を維持してください。

- 残り時間は、身体アイコンの上に表示されます。
- 製品使用中にリモコン操作をすると、残り時間がリセットされます。
- リモコンを操作後30分経つと、電源が自動的に切れ、終了します。

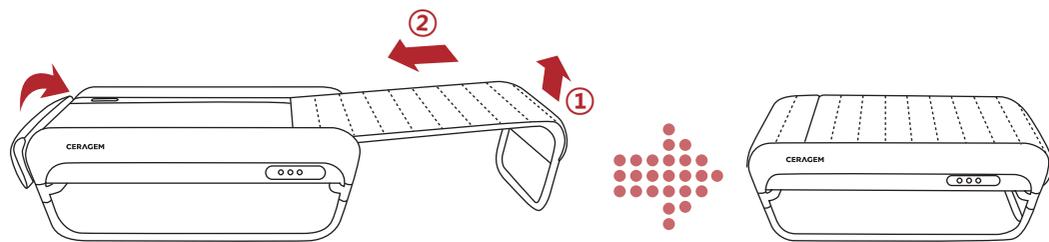
待って

- 一時停止の際、やけどとケガを防止するために、内部導子が移動します。(モードを再始動する時は、設定された強さが復帰します。)
- 一時停止後5分が経過すると、本体は自動的に電源が切れます。

4. 製品の移動方法

1

電源コード、リモコン及び外部導子を本体から外してください。
そして、上部クッションを持ち上げ、下部温熱体を収納してください。
(下部温熱体を展開するには、手前へ引っ張ってから下げてください。)

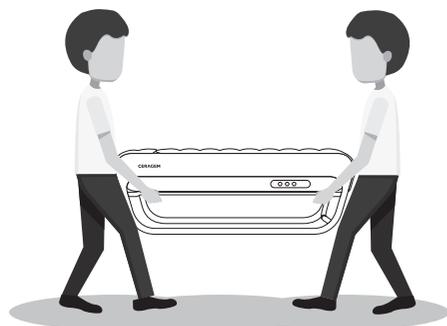


注意

製品を移動する際は、必ずリモコンの電源が切れていることを確認してから移動してください。
(リモコンの電源を切った後、10秒後に下部温熱体を収納してください。)

2

必ず2人で本体の両側を持ち、平衡に持ち上げて移動してください。



注意

- 持ち上げる際は、背筋を伸ばし膝を曲げながらゆっくり持ち上げてください。
- 移動の際には、下部温熱体が開かないように注意してください。

IV. 管理と注意が必要な事項

1. 自己点検
2. 管理及び保管方法
3. アフターサービス
依頼前の確認
4. 診断コードメッセージ
5. 製品仕様
6. 製品保証書

1. 自己点検

使用前点検のポイント

1. 電源コードのプラグが、コンセントに接続しているか？
2. 本体の電源スイッチが「ON」になっているか確認しましたか？
3. リモコンの電源及び画面が「ON」になっていますか？
4. 導子温度が設定された温度になっていますか？
5. 外観に異常はありませんか？
6. 外部導子カバーに損傷があるか確認をしましたか？

使用后点検のポイント

1. リモコンの画面が「OFF」になっていますか？
2. 本体の電源スイッチが「OFF」になっているか確認しましたか？
3. 電源コードがコンセントから外されていますか？

2. 管理及び保管方法

1 製品の外観は、石油系製品ですのでアセトン、ガソリン、シンナー、汗、ヘアムース及びヘアスプレーのような有機溶剤がかからないようにしてください。

2 頭部または皮膚が直接接触する部分は、乾いた布で拭いてください。

3 化粧品や揮発性乳化剤が付着したまま長時間放置すると、表面がはがれることがあるので、できるだけ早く乾いた布で拭いてください。

4 外布を洗うときは、中性洗剤を使用し手で洗ってください。

5 熱いものや熱に触れると、革が丸まってしまうのでご注意ください。

6 ご使用時には、シミ等の原因になる衣類の着用を避けてください。
(外部摩擦により引き起こされる汚染のリスクがありますので、気を付けてください。)

7 室温で保管する時は、直射日光及び湿気を避けてください。
(製品の変色と劣化を起こす恐れがあります。)

3. アフターサービスを依頼する前の確認

・リモコンの電源が入らない？

Q1: 主電源スイッチ(本体の脇にあります)が入っていますか？

A1: 主電源スイッチを入れてください。

Q2: 電源コードは、正確に接続していますか？

A2: 電源コードをもう一度接続しなおしてください。

Q3: リモコンが正確に接続されていますか？

A3: リモコンをもう一度接続しなおしてください。

・3球外部導子と9球外部導子(腹部用バイブレータ)が動かない。

Q: 3球外部導子と9球外部導子(腹部用バイブレータ)が、正確に接続されていますか？

A: 3球外部導子と9球外部導子(腹部用バイブレータ)を正確に接続してください。

・本体の故障かな？

Q1: 上/下ボタンで、内部導子が動きますか？

A1: 内部導子は、区間反復モードと手動モードのみ上/下ボタンで動きます。

Q2: リモコンのボタン操作は、できますか？

A2: 下部温熱体の状況を確認してください。

一部のリモコンボタンは、下部温熱体が完全に展開していないと使えません。

・ディスプレイ上に、エラー表示がされていますか？

Q: 診断コードメッセージが、リモコン画面上に表示されていますか？

A: エラーメッセージ確認後、お客様相談室へご連絡をお願いします。

決して分解をしないでください。

4. 診断コードメッセージ



ちょっと待って!

ご使用中にリモコンのディスプレイに下記のメッセージが表示されたら、必ず(上記例の様な)4桁の番号(ここでは「2023」が表示されています)を控えてお客様相談室  (0120-19-7777) へご連絡をお願いします。



危険

ご使用中に、ケガ、事故(火災、人身障害など)が発生しましたら、シェンペクス・インターナショナル株式会社または、各代理店・販売店へ連絡をしてください。



注意

診断コードが表示されたら、メッセージを確認しお客様相談室へご連絡をください。

5. 製品仕様

型番	CGM MB-1901
一般的名称	家庭用温熱式指圧代用器
電圧	AC 100V, 50/60 Hz
消費電力	245 W
環境温度	10°C~40°C
身体認識推奨身長	120 cm~186 cm
寸法	展開時: 700mmX2,040mmX450mm(±10mm) 収納時: 700mmX1,280mmX450mm(±10mm)
最大許容重量	135kg
重量 (箱を含む)	62kg(±3kg)
製造元	CERAGEM Co., Ltd.
製造販売業者	シェンパクス・インターナショナル株式会社

- * 本製品は、医療機器です。
- * 本製品は、日本国内向けに製造されたため、海外で使用する際はアフターサービスを利用できませんので、ご注意ください。
- * 品質向上のため、デザイン及び仕様を予告なしに変更することがあります。
- * 予想対応年数: 9 年間

6. 製品保証書

保証書			
* 保証のために、下記の情報が必要です:			
販売名	オートマチックサーマル ジェイド シアツ(カイロブラクター)	お名前	
商品名	セラゼムマスターV4	ご住所	
シリアル番号			
保証期間	購入日から1年	郵便番号	
購入年月日		電話番号	
購入店名			
無償サービス			
<p>業務用で使用した場合、保証期間は半年といたします。ご購入後1年以内に通常使用における性能または機能上の故障が発生した場合は、無償で修理させていただきます。お客様の故意の過失による製品の故障(権限のない技術者による製品の修理による製品の故障、お客様による製品の修理や改造、製品の誤使用による製品の損傷または故障)は、保証が無効になります。</p>			
有償サービス			
<ul style="list-style-type: none"> • 製品に欠陥がない場合: <ul style="list-style-type: none"> - 製品の移動または移設による誤った設置 - 製品の欠陥や瑕疵に起因しない事象(例えば、わずかな音、振動、におい、外観、使用感など。) • お客様の不注意による故障: <ul style="list-style-type: none"> - 設置または誤った使用方法による故障 - 誤使用による損傷または故障 - 誤った電源供給による故障 - 外部からの衝撃または落下による故障 - セラゼムの純正品でない消耗品または部品を使用したことによる故障 - セラゼムの代理店でない修理等による故障 - 取扱説明書に記載のある「注意が必要な事項」を守らなかったことによる故障 • その他の事例: <ul style="list-style-type: none"> - 天災地変(洪水、火災、地震、落雷及び戦争など)による故障 - 製品の使用により自然に発生する消耗品の簡単な交換(例えば、外布、外部導子カバー、各種ケーブル類(例:外部導子ケーブル、リモコンケーブル、下部温熱体と上部温熱体とを接続するケーブル、電源コード)及び革製品など • 保証条件: <ul style="list-style-type: none"> ※ 製品に故障が無い状態でアフターサービスをご依頼いただいた場合は、有償とさせていただきますので、取扱説明書をよくお読みください。 ※ 日本国内のみ有効であり、再発行はできませんので、本保証書は取扱説明書と一緒に大切に保管してください。 			
<p>総販売元: ジーエムピー・ジャパン</p> <p>〒379-2146 群馬県前橋市公田町590番地 TEL:027-219-6612 FAX:027-219-6600</p> <p>お客様相談室  0120-19-7777</p> <p>受付時間: 午前10時~午後4時(月~金) 年末年始・祝祭日は、休ませていただきます。</p>			

V. サービスマニュアル

1. 表示、運送及び保管の説明
2. その他

1. 表示、運送及び保管の説明

クラス分類

感電防止の型式	クラスII 設備
感電保護クラス	BF形適用
防水性の等級	通常
運転モード	連続運転



古い電化製品と電気設備を処分
 欧州連合 (EU) 及びその他の欧州諸国が採用している分別収集システムに適合しています。

製品又は説明書などの印刷物に表示されているこのマークは、製品が不要になった場合、一般の家庭ごみと一緒に捨てられないことを表します。管理されていない廃棄処理による環境または人々の健康への害を避けるために、他のゴミとは分別し、持続可能な材料資源の再利用を促進するために、責任のある再利用をしてください。使用者は、環境的に安全な再利用のため本製品をどこでどのように引き取る内容を購入した代理店又はお住いの行政機関のいずれかに連絡をしてください。

CE : 欧州適合 (CE) マーク (医療機器)
 1370

V~ : 交流電圧

I : On (電源: 主電源へ接続)

O : Off (電源: 主電源へ未接続)



60°C 輸送および保管時の
 周囲温度



1060hpa 輸送および保管時の
 大気圧



95% 輸送及び保管時の
 相対湿度

BF形適用	クラスII
天地無用	水濡厳禁
手かぎ無用	壊れ物 (取扱注意)
製造工場	製造年月日
SN シリアル番号	取扱説明書をご確認ください
生産国	一般的禁止事項
IP20 製品のIP分類	IP21 防水性
MD 医療機器	「電気用品安全法」の基準を満たすマーク
UDI 医療機器の個体管理・個体識別のための国際的ルール	

・不用製品及びその残滓の廃棄について

商用でご使用の方は、弊社へご連絡をいただき、売買契約内容の確認をしなければなりません。
 本製品は、他の産業廃棄物と混在してはいけません。

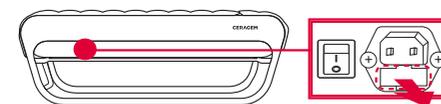
輸送と保管の条件

- 1) -20°C~60°Cの温度下
- 2) 10%~95%の相対湿度下
- 3) 500hPa~1060hPaの大気圧下

使用条件

- 1) +10°C~+40°Cの温度下
- 2) 30%~75%の相対湿度下
- 3) 700hPa~1060hPaの大気圧下

ヒューズに問題が生じた場合は、解体せずにお客様相談室へご連絡ください。



ヒューズの容量: AC 250V, T4AL

タイムラグ,
 4A,
 低遮断容量(ガラス製ヒューズ)

* ヒューズを交換するには、上図の様にヒューズケースを引っ張ってください。(サービスエンジニア関連)

* 本製品は、適切な遮断容量のある保護装置を設置し、短絡電流が40Aを超えないようにしなければなりません。

2. その他

ガイダンスとメーカーの定義 - 電磁波

V4は、下記に明示する電磁環境下で使用することを意図としています。マスターV4のお客様またはご使用者は、マスターV4がそのような環境下で使用されることを保証しなければなりません。		
排ガス試験	適法性	電磁環境 - ガイダンス
RF 排ガス CISPR 11	グループ 1	マスターV4は、RFエネルギーを内部機能のためだけに使用します。それゆえに、RF排ガス量はとて低く、そして近くの電気設備へ与える干渉はありません。
	クラス B	マスターV4は、家庭用施設を含む全ての施設及び、家庭使用を目的する建物へ供給する公共の定電圧電源供給網へ直接接続した施設に適しています。
高調波放射 IEC 61000-3-2	A	
電圧変動 IEC 61000-3-3	満足	

2. その他

メーカーの定義 - 電磁的耐性

マスターV4は、以下のような電磁的環境下で使用することを想定しています。ご使用の際には、下記のような環境下でご使用ください。

イミュニティ試験	IEC 60601 テストレベル	遵守の程度	電磁環境 - ガイダンス
静電耐圧 (ESD) IEC 61000-4-2	接触: 8kV 気中: 15kV	接触: 8kV 気中: 15kV	床は、木製、コンクリート製またはセラミック製のタイルで無ければなりません。もし、床が人工的な材質で覆われている場合には、相対湿度を30%未満にしなければなりません。
電気的高速過渡 /破裂 IEC 61000-4-4	電源ライン: 2kV 入出力ライン: 1kV	電源ライン: 2kV 入出力ライン: 1kV	主電源の品質は、典型的商用または病院環境と同等でなければなりません。
サージ IEC 61000-4-5	ライン-ライン間: 1kV ライン-接地間: 2kV	ライン-ライン間: 1kV ライン-接地間: 2kV	主電源の品質は、典型的商用または病院環境と同等でなければなりません。
電源周波数磁界 (50 or 60Hz) IEC 61000-4-8	30 A/m	30 A/m	電源周波数磁界は、典型的商用または病院環境における、典型的な場所において特徴的なレベルでなければなりません。
電圧ディップ、短時間 停電及び電圧変動に対するイ ミュニティ試験 IEC 61000-4-11	0% UTで (UTの100% ディップ) : 0.5 サイクル 0% UTで (UTの100% ディップ) : 5サイ クル 70% UTで (UTの30% ディップ) : 25サイ クル 0% UTで (UTの100% ディップ) : 5秒間	0% UTで (UTの100% ディップ) : 0.5 サイクル 0% UTで (UTの100% ディップ) : 5サイ クル 70% UTで (UTの30% ディップ) : 25サイ クル 0% UTで (UTの100% ディップ) : 5秒間	主電源の品質は、典型的商用または病院環境におけると同等で無ければなりません。もし、マスターV4を使用する際に、主電源が遮断された状態下においても、操作をする必要がある場合には、無停電電源装置またはバッテリーから電源を供給することをお勧めします。

注: UTとは、試験レベル適用前のAC主要電源電圧です。

2. その他

無線周波電磁界によって誘導する伝導妨害に対するイミュニティ ☒

マスターV4は、以下のような電磁的環境下で使用することを想定しています。
ご使用の際には、下記のような環境下でご使用ください。

イミュニティ試験	IEC 60601 テストレベル	遵守の程度	電磁環境 - ガイダンス
無線周波数電磁界によって誘導する伝導妨害に対するイミュニティ IEC 61000-4-6	150 kHz～ 80 MHz:3V	150 kHz～ 80 MHz:3V	携帯用及び移動用RF通信機器は、送信機の周波数に適用される式から算出される推奨分離距離を超えケーブルを含むマスターV4のいかなる場所にも近づけて使用しないでください。 推奨される分離距離 $d = \left[\frac{3,5}{V_1} \right] \sqrt{P}$
放射無線周波電磁界イミュニティ試験 IEC 61000-4-3	80.0MHz～ 2.7GHz:3V/m	80.0MHz～ 2.7GHz:3V/m	推奨される分離距離 $d = \left[\frac{3,5}{E_1} \right] \sqrt{P}$ 80MHzピス800MHz $d = \left[\frac{7}{E_1} \right] \sqrt{P}$ 80MHzピス2.5GHz ここでの「P」は、送信機のメーカーによる最大送信出力「W」であり、「d」は、推奨分離距離「m」です。電磁現場調査によって決定される、固定 RF 送信機からの電界強度「a」各周波数範囲の準拠レベル「b」未満である必要があります。 下記の表示が付されている機器の近くでは、干渉が発生する可能性があります。 

注 1) UTとは、試験レベル適用前のAC主要電源電圧です。
注 2) 80 MHzと800 MHzでは、より高い周波数範囲が適用されます。
注 3) これらのガイドラインは、全ての状況に該当するものではありません。電磁波伝導は、構造物、物体及び人からの吸収及び反射によって影響を受けます。

a 無線、(携帯/コードレス)電話機、可動式無線機、アマチュア無線、AM、FMラジオ包装及びテレビ放送の基地局のような、固定された送信機からの電磁界強度は、理論上においては予測することはできません。固定されているRF送信機による電磁環境を評価するためには、電磁現場調査をする必要があります。もし、使用されているEUTの電磁強度を測定した場合に、上記の適用可能なRF基準のレベルを超えた場合は、EUTが正常に動作するか否かを確認する必要があります。もし、異常な動作が確認された場合には、EUTの方向を変えたり、または配置転換をなどの追加処置が必要になる場合があります。
b 150kHzから80MHzの周波数の範囲を超える場合は、電磁強度は、[V 1]V/m未満でなければなりません。

2. その他

携帯用及びモバイル用RF通信機器とマスターV4間に推奨される分離距離

マスターV4は、放射RF障害波が制御される電磁環境において使用されることを意図としています。マスターV4は、通信機器の最大出力に応じて、携帯用及びモバイル用のRF通信機器(送信機)と下記で推奨されるV4間において、最短距離の維持により電磁干渉を防ぐことができます。

送信機の 最大出力電力 (W)	送信機の周波数ごとの分離距離(m)		
	150 kHz to 80 MHz	80 MHz to 800 MHz	800 MHz to 2.7 GHz
0.01	0.12	0.04	0.07
0.1	0.37	0.11	0.22
1	1.17	0.35	0.70
10	3.70	1.11	2.21
100	11.70	3.50	7.00

上記に記載がされていない最大出力電力の通信機器の場合、メートル表記する (m) 推奨分離距離 (d) は、送信機の周波数に適用される公式を使用すること想定し、ここでのPは、送信機の生産工場におけるワットage (W) に置ける送信機の最大出力電力です。

注 1: 80 MHzと800 MHzにおいて、より高い周波数範囲の分離距離を適用します。
注 2: これらのガイドラインは、全ての場合に適用されるものではありません。電磁伝播は、構造、物体及び人体から吸収及び反射によって、影響を受けます。

イミュニティと遵守の程度

イミュニティ試験	IEC 60601 テストレベル	実行イミュニティレベル	遵守の程度
伝導妨害 IEC 61000 -4-6	3 Vrms , 150 kHz to 80 MHz	3 Vrms , 150 kHz to 80 MHz	3 Vrms , 150 kHz to 80 MHz
放射無線周波 IEC 61000 -4-3	10 V/m, 80 MHz to 2.5 GHz	3 V/m, 80 MHz to 2.7 GHz	3 V/m, 80 MHz to 2.7 GHz

